年間授業計画

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　音楽　　科目 演奏研究

教　科：　音楽　　科　目：　演奏研究　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　4 組

教科担当者：（4組：　　）

使用教科書：（ なし　　）

教科　音楽　　の目標：

【知識及び技能】 音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，表現意図を音楽で表すために必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，音楽の表現内容を解釈したり音楽の文化的価値などについて考えたりし，表現意図を明確にもったり，音楽や演奏の価値を見いだして鑑賞したりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，音楽文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。

科目　演奏研究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽の様式を踏まえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。	音楽作品を尊重して演奏したり観賞したりする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	楽曲分析と演奏方法の理解① 【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づける。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	旋律と和声分析 分散和音と非和声音 カデンツについて 二部、三部形式 コードについて 低音位の基本位置と転回位置 主音の保続音 近親調 同主調 転調 時代による音楽様式 国（文化）による音楽の特徴	【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとすることができる。	○	○	○	6
	楽曲分析と演奏方法の理解② 【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づける。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	複合三部形式 各種のドミナント和音 各種のサブドミナント和音 終止形 非和声音のおぎない 時代による音楽様式 国（文化）による音楽の特徴	【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとすることができる。	○	○	○	10
	前期音楽科目テスト			○	○		1
後期	楽曲分析と演奏方法の理解③ 【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づける。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	ロンド形式 ソナタ形式 ソナタ形式分析の要領 借用和音 和音の下方変位 各音度の5度関連 偶成和音 主音上の５度 属音の保続音 時代による音楽様式 国（文化）による音楽の特徴	【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとすることができる。	○	○	○	11
	楽曲分析と演奏方法の理解① 【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づける。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	変奏曲について ソナタ形式のまとめ ロンド形式のまとめ 楽曲としてのソナタ 各種演奏形態におけるソナタ 時代による音楽様式 国（文化）による音楽の特徴	【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとすることができる。	○	○	○	7 合計
	後期音楽科目テスト			○	○		35